



# 生活クラブ風車



# 夢風News

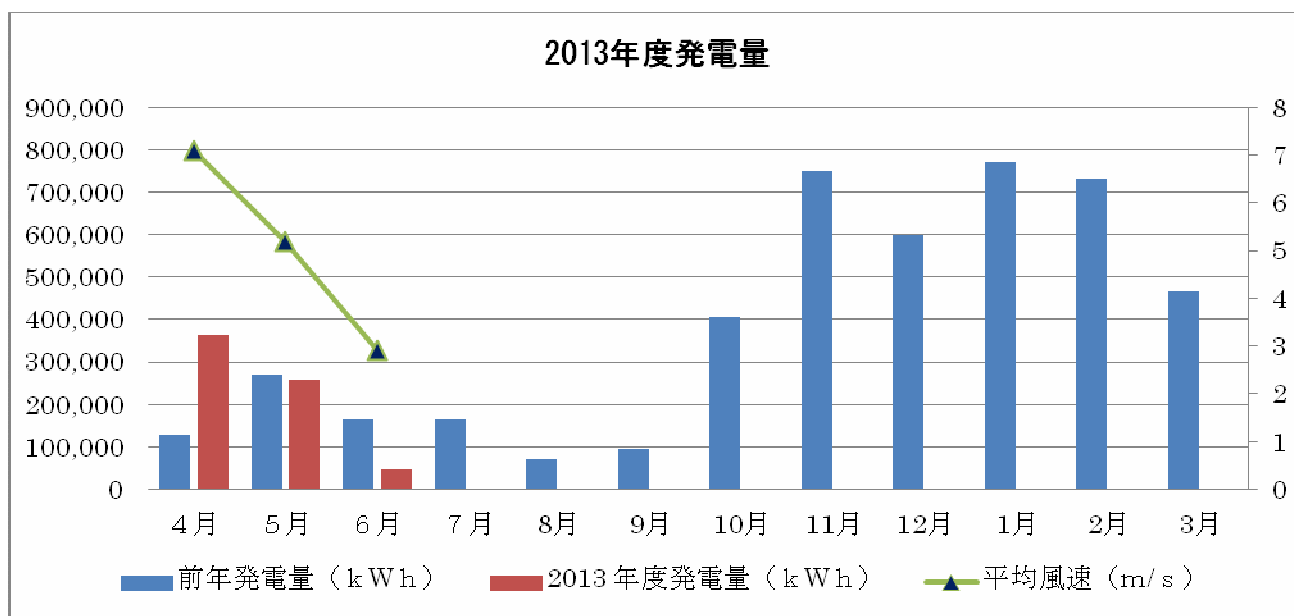
Vol.13

●発行 2013. 7. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩 (代表理事) ●編集責任者 鈴木伸予

## ■ 風車の発電実績 ■

	発電量 (kWh)	【前年比%】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	364,062	【281.0%】	7.1	25.4
5月	257,970	【95.6%】	5.2	17.4
6月	46,516	【28.1%】	2.9	3.3



- ・秋田県地方は例年よりやや遅く6月18日に梅雨入りしました。
- ・6月は平均風速 2.9m/s と低く、昨年最も風が弱かった8月の平均風速 3.0m/s を下回る状況でした。そのため、発電量も非常に低くなりました。

\*3月8日より出力制限運転で定格出力 1,000kW となっていますが、設備利用率は 1,990kW として算出しています。



## ■ 生活クラブ風車建設1周年記念イベントを開催します ■

生活クラブ風車の建設1周年を祝い、生活クラブとにかほ市との交流や連携をより一層広げていくことを目的に8月24日(土)・25日(日)に記念イベントを秋田県にかほ市で行います。

8月24日は風車の下で1周年記念式典と、地元の方とバーベキュー交流会を開催します。

25日にはにかほ市との連携推進に向けたフォーラムを開催します。フォーラムでは、にかほ市長をはじめとし、秋田県立大学の谷口教授、法政大学の西城戸教授のほか、にかほの特産品の生産者の方と組合員と多彩なメンバーでのパネルディスカッションを予定します。また、持続可能な自然エネルギー社会に向けてにかほ市、生活クラブ、グリーンファンド秋田3者による連携を推進するための共同宣言への調印式を行います。

この1周年イベントには、首都圏の東京、神奈川、埼玉、千葉の生活クラブから60名以上の組合員や職員が参加予定です。イベントの様子は9月号でご報告します。お楽しみに・・・



## ■神奈川県で再生可能エネルギーを促進する条例が制定されました■

グリーンファンド秋田代表理事 半澤 彰浩 (生活クラブ神奈川常務理事)

2013年7月2日、神奈川県議会「平成25年第2回定例会本会議」において、「神奈川県再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」が県議会議員総員一致で可決・制定されました。

省エネルギーそして再生可能エネルギーを促進する目的をもった条例としては、2011年3月11日以降、今回の条例が全国都道府県で初めての制定です。

今回の条例制定運動は、生活クラブ神奈川が呼びかけて始まりました。県内の協同組合等が連絡会を形成し、広範な市民の参加で運動を進め、その結果、団体署名：1,075筆、個人署名：225,104筆と多くの方々の共感と賛同を広げました。

2013年2月21日には、竹内英明神奈川県議会議長に、署名を添えて陳情書「神奈川県省エネルギー・再生可能エネルギー促進条例(仮称)の制定を求める陳情」を提出しました。その後県議会内では、条例を検討するためのプロジェクトが立ち上がり、今回の条例制定につながりました。

7月2日の本会議には、生活クラブ神奈川からは各地域生協・ユニオンの理事会代表が参加し、条例制定に向けた県議会の審議を傍聴しました。

条例制定はゴールではなく、省エネルギー・再生可能エネルギーの促進や脱原発、エネルギーの自治に向けた取組の第一歩です。

私たち一人ひとりの暮らしの見直しを進めるとともに、おおぜいの市民とともに活動を進めていきましょう。



・・ひとことエッセイ・・



暑いですね～毎日。我らが“夢風”も夏バテしちゃって発電をサボっています。いやいや日本の風車は、夏は風が吹かないから、あんまり回らないんですね。こんなこと風車建設にかかわるまで知りませんでした。

震災以降たくさんの人が“電力”について学び、考え、行動してきました。2年以上たった今でも緑のカーテンを作ったり、遮熱シートを窓に付けたり、省電力家電が売れ続けています。国民の努力と技術向上で、原発がなくても電力は足りていることを証明しているのに、原発再稼働に向けた準備が着々と進んでいます。



私たちは“夢風”建設を機会に、自然エネルギーや電力に関する知識を飛躍的に高めました。自然エネルギーの取り組みが民主的な分散型地域社会づくりに結び付くことへの理解も高まりました。にかほ市の皆さんとの交流も深まっています。自然エネルギーを配電する計画まで持てるようになりました。そのための人材育成も始まりました。

中央主権&原発推進派の巻き返しが強まる中、私たちのチャレンジは、風車一基分の発電量や経済規模だけの価値にとどまりません。社会を変えよう！というチャレンジに参加できていることを、もっとみんなで楽しみましょうね。

グリーンファンド秋田理事（生活クラブ埼玉専務理事）

重盛 智



### 生活クラブ風車Q&A

Q：今月は風車が回らなかったですね。風車がまわる風速の範囲ってどのくらい？

A：風車は風が吹かなければ回りません。風車が回転を始める風速を起動風速、発電を始める風速をカットイン風速といいます。また、台風や爆弾低気圧などとても強い風の吹く時は、風車は安全のために自動停止しますが、この時の風速をカットアウト風速といいます。生活クラブ風車が発電をはじめるカットイン風速は4 m/s で、カットアウト風速は24m/s です。

一年中安定した偏西風の吹くイギリスやドイツ、北欧諸国と比べ、日本では、夏は、太平洋高気圧に覆われ風があまり吹きません。冬は、シベリア高気圧から強い北西の季節風にさらされ、北海道や東北地方の日本海側で風力発電に良い風が吹きます。

## にかほの風だより ～こんなに感動がいっぱい！にかほの観光～ ②

秋田県にかほ市観光課の荒川と申します。よろしくお願ひします。

今回は他では見ることのできない不思議な景色をご紹介します。

天然記念物「象潟」は紀元前466年に鳥海山が崩れ、土石流がおきた影響で平地に山ができ、その間の凹地に海水が入り込み、砂等によって閉鎖されてきた潟です。

その潟にある大小百数十の島を九十九島(昔の人はアバウトなのかな?と思いますが、多いという意味)と呼び、多くの文人が訪れる名勝地でした。

特に能因法師や西行法師の歌枕を巡る旅「おくのほそ道」で松尾芭蕉が訪れ「松島は笑ふが如く、象潟は憾(うら)むが如し」という言葉を残し、松島と並び称しています。(うらむ・・・というネガティブなイメージですが、今も昔もにかほ市は笑顔で溢れているので、太陽が昇り「心躍る松島」と、太陽が沈み「心落ち着く象潟」という意味ではないでしょうか?現在、にかほ市と松島町は夫婦町として交流をしております。)

今は1804年の地震による隆起で海より陸地が高くなり、島が田んぼに浮かんでいる風景となっておりますが、稲作の為に島々の周りに水を張る4月下旬から5月上旬までは海に囲まれていた昔の姿を見ることができます。

象潟の広さは隆起した際の地層である「象潟層」が南北5.5km、東西1.0kmに分布しており、これが「象潟」の範囲となります。



今は田んぼになっている天然記念物「象潟」



日本海に沈む夕日と九十九島



水を張った田んぼに写り込む「逆さ鳥海」



蛸満寺山門

そして島々の中心にあったのが蛸満寺で、853年に慈覚大師が創建したと伝えられています。境内には七不思議が伝わっており、不思議でひっそりとした雰囲気が魅力の古刹です。

ぜひ「陸の松島」ともいわれる不思議な景色と古刹「蛸満寺」の雰囲気をにかほ市でご覧いただければと思います。

次回は「仁賀保高原」をご紹介します。